

鬼北句会

身籠りし牛ゆつたりと花野行く
ひとり居の自然に委せ萩の庭
ローカル線木犀の香も乗せてをり
ひとところ振り返らせる草紅葉
群れて咲く遊女の墓に曼珠沙華
百五才伯母健やかに菊薫る
谿までの九太手摺や紅葉狩
ファックスのジージー届く夜寒かな
整然と葱畑に日の当りをり
旧友のふるさと訛り柿熟る、
道の駆廻るドライブ小春かな
夕映えや黄金に染まる鱗雲
柿落葉闇夜の庭を駆けにけり
板の間をはじき返して秋陽濃し
峽の里軒に吊され唐辛子

大川 眺春
毛利 知子
善家 信景
善家 三代
善家 章
今西 英子
上甲 正志
武田 幸子
二宮千代子
二宮 友子
松岡 寛孝
新倉地映子
芝 光恭
白敷フサ子
上甲 斗志


広見短歌会

倒れても立ちて駆けゆく園児らを拍手の渦が追いかけて行く
家内中元気でいまずと夫につげ帰りにちよびり泣きごと伝へ
道の駅新鮮な色われを呼ぶかこは重たく両手で支えて
羽音して木陰を見れば山鳥が卵かかえてみじろぎもせず
流れ落ちる水の法則知らざるか起ち上げられていかる噴水
独裁の政治に事務所費無駄施設貧富拡大怒りの審判
六十年添ひたる夫よ一言の別れも云はで旅立ちにけり
待ちどおしいやわらかホッペの初孫をこの手の中に抱けるのは春
二人して作りし人形褒め合いて過ぐる日なつかし係に立つ
この政治変るか暮し一票で猛暑の中を手押をおして
足しびれ晴れぬ心だるい身を負けては駄目よと作業衣を買う
台風之余波しづまりし庭池に合歡の花房浮びておりぬ
かすかなる秋風受けて歩む道並の花咲く土手の一叢

須藤ヒサエ
二宮 安恵
佐々木登美子
兵田トミ子
武田 幸子
松崎 静香
渡辺喜代子
橋本 加代
蛭谷 寿子
伊手リツエ
渡辺八千代
山本まつゑ
高田 治子


大きくなったら

好藤小学校




はくのし、うまの夢は料理人になることです。それは料理が好きです。何度が料理をして楽しかったからです。料理人になる夢は、たまたま、食べた人が「おいしい」といって、うれしくいふので、料理人になりたいです。

世界の料理人
5年 行定公平




わたしは、大きくなったら、かきやさんになりたいです。かきやさんは、おもしろい仕事をしています。かきやさんになると、おもしろい仕事ができます。かきやさんになると、おもしろい仕事ができます。

かきやさん
1ねんぶくしりよのん



はくのし、うまの夢は料理人になることです。それは料理が好きです。何度が料理をして楽しかったからです。料理人になる夢は、たまたま、食べた人が「おいしい」といって、うれしくいふので、料理人になりたいです。

料理の夢
6年 河津雄大



はくのし、うまの夢は、プロの料理人になりたいです。プロの料理人になると、おもしろい仕事ができます。プロの料理人になると、おもしろい仕事ができます。

プロの料理人
2年坂本理矢